

(19)

JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **10225489 A**

(43) Date of publication of application: **25.08.98**

(51) Int. Cl

A61H 3/04

A61G 5/00

(21) Application number: **09065283**

(71) Applicant: **TAICHI:KK**

(22) Date of filing: **12.02.97**

(72) Inventor: **TOMIDOKORO HIDEO**

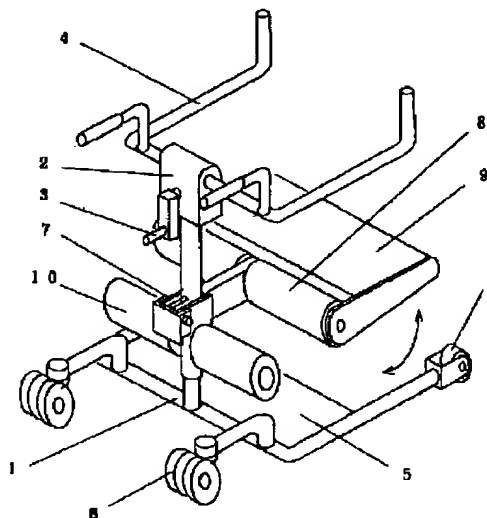
(54) **CARE VEHICLE**

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To easily adjust the height of a seat plate and also to adequately execute getting on/off to/from a bed and correspondence to a stool by providing the seat plate fitting part of a main body with an elevating/lowering mechanism, dividing the seat surface of the seat plate in front and rear parts and forming the rear part seating surface so as to be freely inclining downwards possible.

SOLUTION: A care vehicle in a state where the rear part seat surface 9 is inclined downwards is placed in the front of a cared person who is sitting on the edge of the bed at the time of usage. The cared person in this state grasps the armrests commonly used as handrails of the care vehicle, strides across the front part seat surface 8 of the seat plate, puts on legs on the front part seat surface 8 and puts on toes on toerests 5. Then, weight is loaded in a front part and supported by the armrests commonly used as the handrails 4, the toerests 5, the front part seat surface 8, and a neck holding parts 10. Then, the handle 3 of the elevating/lowering mechanism 2 is rotated by a care person so as to float the cared person from the bed, the care vehicle is drawn from the bed and, after that, the rear part seat surface 9 is pulled-up and fixed. The buttocks of the cared person are placed on the rear part seat surface 9 so as to permit him to sit down and, then, the care vehicle is moved by pushing.

COPYRIGHT: (C)1998,JPO



(51) Int.Cl.⁸

A 6 1 H 3/04

A 6 1 G 5/00

識別記号

5 0 2

F I

A 6 1 H 3/04

A 6 1 G 5/00

5 0 2

審査請求 未請求 請求項の数 5 書面 (全 4 頁)

(21) 出願番号

特願平9-65283

(22) 出願日

平成9年(1997) 2月12日

(71) 出願人 597037360

有限会社タイチ

群馬県佐波郡玉村町上之手2271番地の8

(72) 発明者 富所 英雄

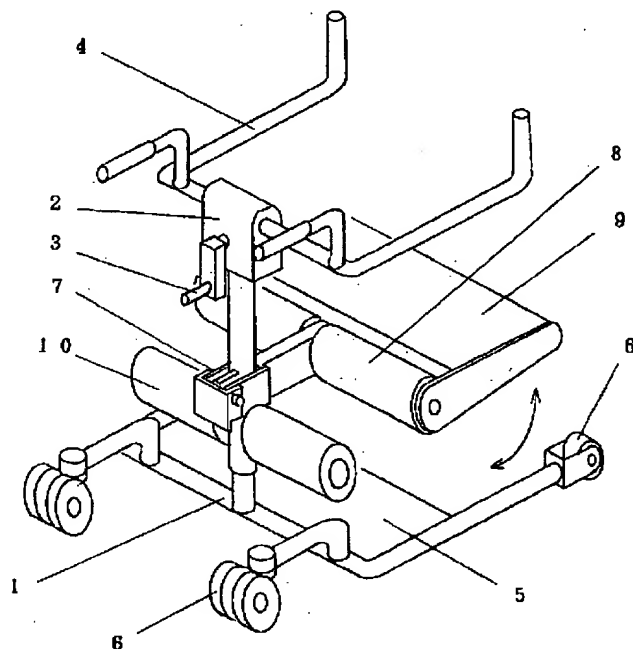
群馬県佐波郡玉村町上之手2271番地の8

(54) 【発明の名称】 介護車

(57) 【要約】

【目的】 寝たきりや歩行の困難な人のための移動用介護機器である。車椅子のように自由に移動ができ、ベッドから介護車への乗り降りや、排泄の際のズボンの上げ下ろしが容易にできるようにする。

【構成】 手摺兼肘掛けと、足置きを有し、キャスター付で移動可能な本体と、片側に本体との連結金具を有する取外し式の座板とから構成される。本体には、座板との連結部が昇降する機能を有し、座板は、片側に連結用金具を設け、ベッドから介護車への乗り降りや、排泄の際のズボンの上げ下ろしが楽にできるように、腿を支持するための座面前部を残して、尻を支える座面後部が、下方に倒れる機構を有する。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 座板取付け部（７）が昇降する機能を有し、キャスター（６）や車輪等で移動可能な本体（１）と、片側に本体との連結部を有する座板とから構成される介護車。

【請求項 2】 座板の座面を前部座面（８）、後部座面（９）とに分け、後部座面（９）が下に倒れる座板。

【請求項 3】 座板の座面を前部座面（８）、後部座面（９）とに分け、後部座面（９）が下に倒れる座板を有する介護車。

【請求項 4】 座板の座面を前部座面（８）、後部座面（９）とに分け、後部座面（９）が下に倒れる座板と脛（すね）当て（１０）を設けた介護車。

【請求項 5】 前部座面（８）のみの座板と脛（すね）当て（１０）を設けた介護車。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、寝たきりや、歩行の困難な人の介護を対象とした移動用介護機器に関する。

【0002】

【従来の技術】従来の移動用介護機器には、車椅子もしくは吊り下げ式のリフター等がある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】従来、介護をする者が、「寝たきり」や歩行に障害のある人を、ベッドから他の場所へ移動させるには、ベッドの縁に腰掛けている被介護者を車椅子に乗せかえるにしても、簡易トイレに座らせるにしても、抱き着く様にして、被介護者を持ち上げたまま数歩の移動をしなければならず、介護をする者の肉体的負担は非常に大きく、入浴の介護では、事故の危険さえ伴う。

【0004】このように車椅子は、移動用介護機器の標準的存在であるが、乗り降りが容易でないという欠点がある。

【0005】吊り下げ式のリフターは、持ち上げに力を要しないが、移動範囲が限定されていて簡便性に欠けるうえに、レール等の据え付け工事が必要で比較的高価なことが欠点である。

【0006】ベッドから介護車への乗り込みや、介護車から便器、その他の椅子等への乗り移りの際に、被介護者を持ち上げる事無く、容易に乗り移れるようにする必要がある。

【0007】排泄の際にズボンを上げ下ろしする為には、車椅子の座面や便座から、被介護者の尻を浮かさなければならぬ。

【0008】本発明は、乗り降りが容易で、車椅子のように自由な移動ができ、さらに排泄の際のズボンの上げ下ろしが容易にできるような移動用介護機器（介護車）の提供を目的としている。

【0009】

【課題を解決するための手段】本体（１）の座板取付け部（７）に昇降機構（２）を設けることで、座板の高さが自由に調整でき、ベッド（１１）や便器の高さへの対応が確にできる。

【0010】座板の前部座面（８）を残し、後部座面（９）が下方に倒れる様にする、よりベッドに接近することができ、乗車するには、座板の前部座面（８）に腿を乗せるだけで済む。

10 【0011】座板の前部座面（８）を残し、後部座面（９）が下方に倒れる様にする、被介護者（１２）の尻に接触する部分が無い、ズボンの上げ下ろしが容易になる。

【0012】脛当て（１０）を設けると、被介護者（１２）が前方に姿勢を移した際に、体重を支え易い。

【0013】

【発明の実施の形態】本発明は、手摺兼肘掛け（４）と、足置き（５）を有し、キャスター（６）付で移動可能な本体（１）と、片側に本体との連結金具を有する取外し式、または本体（１）に固定式の座板とから構成される。本体には、座板の取付け部が昇降する機能を有する。座板は、取外し式の場合は、片側に連結用金具を設ける。ベッド（１１）から介護車（１３）への乗り降りや、排泄の際のズボンの上げ下ろしが楽にできるように、腿を支持するための前部座面（８）を残して、尻を支える後部座面（９）が、下方に倒れるようになっている。後部座面（９）を倒す際に、前方に体重を移した被介護者の脛（すね）を支える為の脛当て（１０）を設けた。

30 【0014】本発明の基本的な使い方を説明すると、まずベッド（１１）の縁に腰掛けている被介護者（１２）の前に、後部座面（９）を下に倒した状態の介護車（１３）を置く。被介護者（１２）は、介護車（１３）の手摺兼肘掛け（４）につかまり、座板の前部座面（８）をまたいで、腿を前部座面（８）に乗せ、足置き（５）に足を乗せる。体重を前方に寄せ、手摺兼肘掛け（４）、足置き（５）と前部座面（８）及び脛当て（１０）で体重を支える。介護人は昇降機構（２）のハンドル（３）を回す、もしくは電動式の場合はモーターを作動させて、被介護者（１２）をベッド（１１）から浮かせ、介護車（１３）をベッド（１１）から引き出し、座板の後部座面（９）を引き上げ、固定する。被介護者（１２）は座板の後部座面（９）に尻を乗せ、普通に腰掛ける。介護人に介護車（１３）を押してもらい移動する。排泄の際には、被介護者（１２）は、便器の手前で再び体重を前方に寄せ、介護車（１３）の手摺兼肘掛け（４）につかまり、尻を上げ、手摺兼肘掛け（４）、足置き（５）と前部座面（８）及び脛当て（１０）で体重を支える。介護人は、座板の後部座面（９）を下げて、被介護者（１２）のズボンを下ろし、介護車（１３）を便器

3

に寄せ、昇降機構(2)で座面の高さを調節して、被介護者(12)を便器に座らせる。これら一連の介護動作のなかで、介護する者が、被介護者(12)を持ち上げることは全んど無く、昇降機構(2)に採用しているスクリュウ方式は、自動車のジャッキにも使われている原理なので、人を持ち上げるくらいではハンドル(3)の回転に要する力も微々たるものである。

【0015】

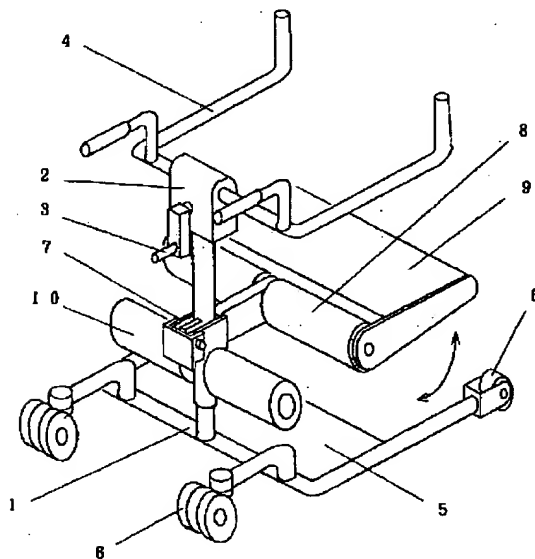
【実施例】昇降機構(2)には、安全性、コスト、昇降高さの任意性、浴室などの水場でも使用できるように耐水性を考慮して、機構部品の露出しない構造でのスクリュウネジ方式の他、油圧シリンダーを使用したり、ワイヤーやベルトやチェーンを使ったウィンチ方式等がある。座板は、前部座面(8)が介護車(13)の本体(1)に連結固定され、後部座面(9)は前方を支点にして下方に倒せるように取付けられ、安全のためロック機構を設ける。脛当て(10)は、介護車(13)の本体(1)に取付けるか、または座板に設ける。

【0016】

【発明の効果】このように本発明は、車椅子の様にどこへでも自由に移動可能で、吊り下げ式リフターのような据え付け工事や、建物の改造工事を必要とせず、設備に掛る費用も比較的軽微である。

【0017】介護車(13)へ乗り降りや排泄の際の介護で、被介護者(12)を持ち上げるという、肉体的作業を必要としないため、介護する者の肉体的負担が軽減できる。

【図1】



4

【0018】介護を要する人の身近にいる誰でもが簡便に使用して移動、排泄の世話を容易に行えるため、介護の理想である「随時性」を満足することができ、介護を要する人を抱える家立の生活の平安と自立を促し、ホームヘルパーの充実等に要する社会的負担の軽減につながるものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】介護車(13)の外形図である。

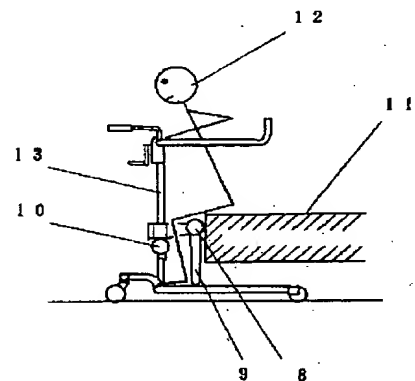
【図2】介護車(13)への乗り降りの際に、後部座面(9)を下方に倒した状態での使用状況の説明図である。

【図3】後部座面(9)を上げた状態での、使用状況の説明図である。

【符号の説明】

- 1 本体
- 2 昇降機構
- 3 ハンドル
- 4 手摺兼肘掛け
- 5 足置き
- 6 キャスター
- 7 座板連結部
- 8 前部座面
- 9 後部座面
- 10 脛当て
- 11 ベッド
- 12 被介護者
- 13 介護車

【図2】



【図3】

